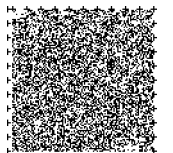


## — 4 地域福祉関係者調査 —

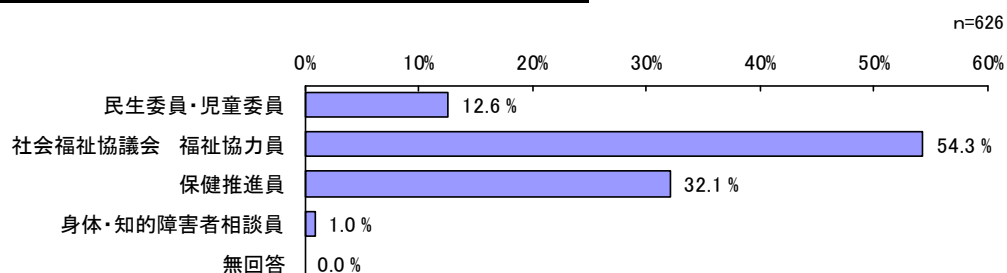




# I 基本属性

## (1) 回答者

No.	選 択 肢	n	%
1	民生委員・児童委員	79	12.6
2	社会福祉協議会 福祉協力員	340	54.3
3	保健推進員	201	32.1
4	身体・知的障害者相談員	6	1.0
	無回答	0	0.0
	全体	626	100.0

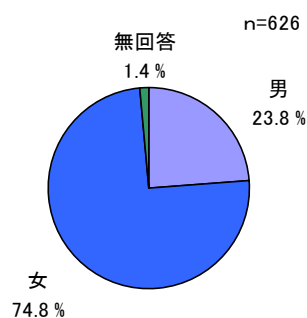


○「社会福祉協議会 福祉協力員」(54.3%)が過半数を占めて最も多く、次いで「保健推進員」(32.1%)が多く、「民生委員・児童委員」(12.6%)が続いている。

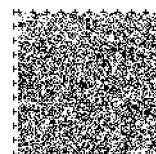
## (2) 性別

問1 性別についてお答えください。[1つに○]

No.	選 択 肢	n	%
1	男	149	23.8
2	女	468	74.8
	無回答	9	1.4
	全体	626	100.0



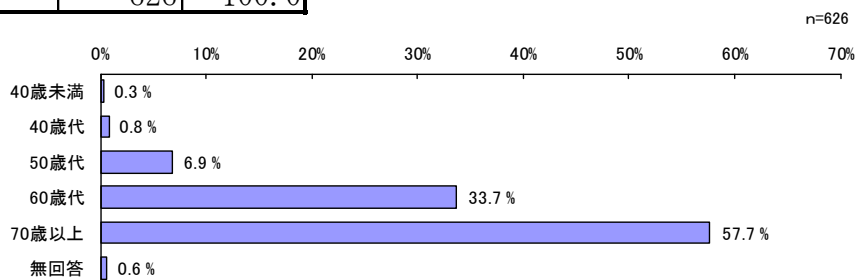
○回答者の性別は、男性が23.8%、女性が74.8%で、女性が4分の3近くを占めて多くなっている。



(3) 年齢

問2 年齢についてお答えください。[1つに○]

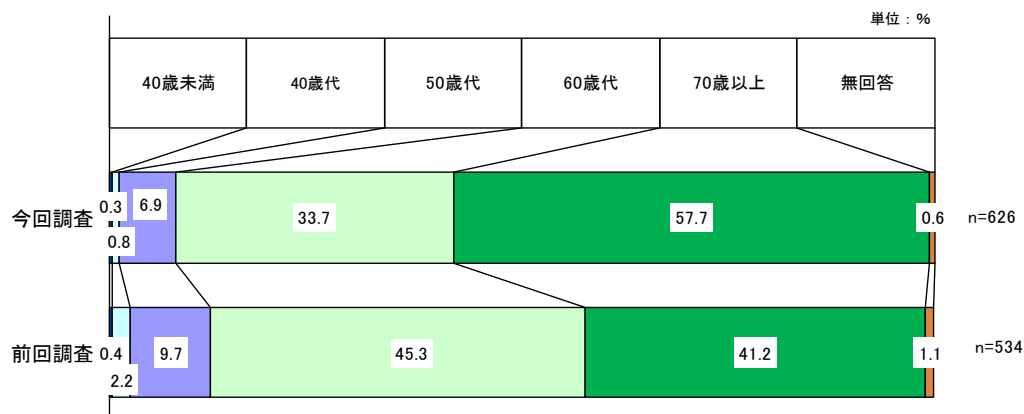
No.	選 択 肢	n	%
1	40歳未満	2	0.3
2	40歳代	5	0.8
3	50歳代	43	6.9
4	60歳代	211	33.7
5	70歳以上	361	57.7
	無回答	4	0.6
	全体	626	100.0



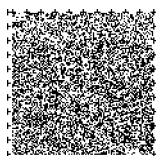
○年齢は、「70歳以上」(57.7%)が過半数を占めて最も多く、次いで「60歳代」(33.7%)が多くなっている。

60歳以上が91.4%を占めている一方、「40歳未満」は0.3%とごく僅かである。

【前回調査との比較】



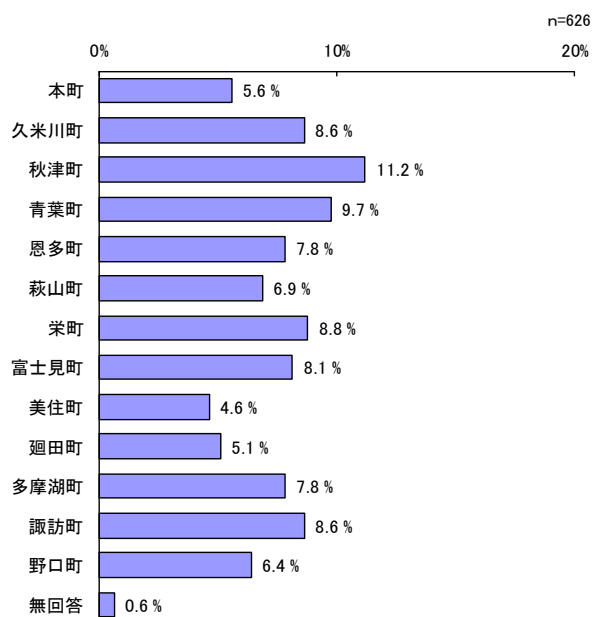
○今回調査結果では、前回調査時と比べて「70歳以上」が16.5ポイント増加した一方、「60歳代」、「50歳代」、「40歳代」は順に11.6、2.8、1.4ポイント減少している。



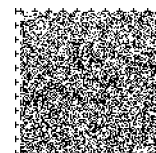
(4) 居住地域

問3 ご自宅のある町名をお答えください。[1つに○]

No.	選 択 肢	n	%
1	本町	35	5.6
2	久米川町	54	8.6
3	秋津町	70	11.2
4	青葉町	61	9.7
5	恩多町	49	7.8
6	萩山町	43	6.9
7	栄町	55	8.8
8	富士見町	51	8.1
9	美住町	29	4.6
10	廻田町	32	5.1
11	多摩湖町	49	7.8
12	諏訪町	54	8.6
13	野口町	40	6.4
	無回答	4	0.6
	全体	626	100.0



○居住地域は、「秋津町」(11.2%)が最も多く、「青葉町」(9.7%)、「栄町」(8.8%)、「久米川町」「諏訪町」(共に8.6%)が続いている。

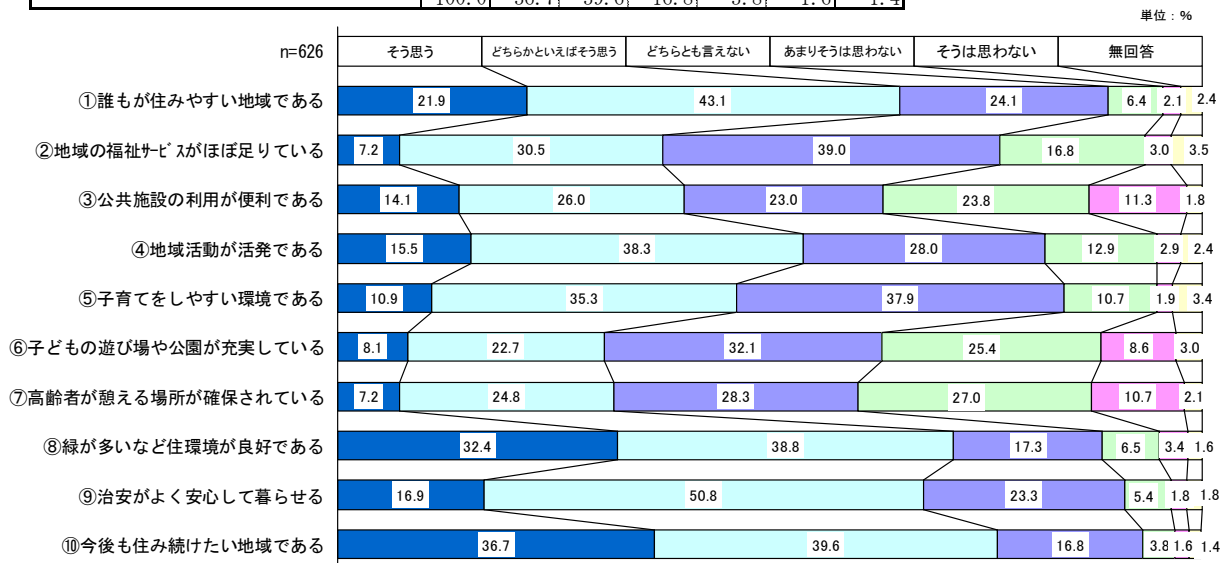


## II 住まいの地域の状況

### (1) 居住地域について

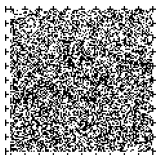
問4 お住まいの地域の環境について、どのようにお考えですか。  
[それぞれ1つに○]

問4	全体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも 言えない	あまり そうは 思わない	そうは 思わない	無回答
①誰もが住みやすい地域である	626 100.0	137 21.9	270 43.1	151 24.1	40 6.4	13 2.1	15 2.4
②地域の福祉サービスがほぼ足りている	626 100.0	45 7.2	191 30.5	244 39.0	105 16.8	19 3.0	22 3.5
③公共施設の利用が便利である	626 100.0	88 14.1	163 26.0	144 23.0	149 23.8	71 11.3	11 1.8
④地域活動が活発である	626 100.0	97 15.5	240 38.3	175 28.0	81 12.9	18 2.9	15 2.4
⑤子育てをしやすい環境である	626 100.0	68 10.9	221 35.3	237 37.9	67 10.7	12 1.9	21 3.4
⑥子どもの遊び場や公園が充実している	626 100.0	51 8.1	142 22.7	201 32.1	159 25.4	54 8.6	19 3.0
⑦高齢者が憩える場所が確保されている	626 100.0	45 7.2	155 24.8	177 28.3	169 27.0	67 10.7	13 2.1
⑧緑が多いなど住環境が良好である	626 100.0	203 32.4	243 38.8	108 17.3	41 6.5	21 3.4	10 1.6
⑨治安がよく安心して暮らせる	626 100.0	106 16.9	318 50.8	146 23.3	34 5.4	11 1.8	11 1.8
⑩今後も住み続けたい地域である	626 100.0	230 36.7	248 39.6	105 16.8	24 3.8	10 1.6	9 1.4



○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた<肯定派>の割合は、「⑩今後も住み続けたい地域である」(76.3%)が7割台半ばと最も多く、次いで「⑧緑が多いなど住環境が良好である」(71.2%)が7割強を占めて多くなっている。「⑨治安がよく安心して暮らせる」(67.7%)、「①誰もが住みやすい地域である」(65.0%)も6割台半ばから後半を占めて多くなっている。

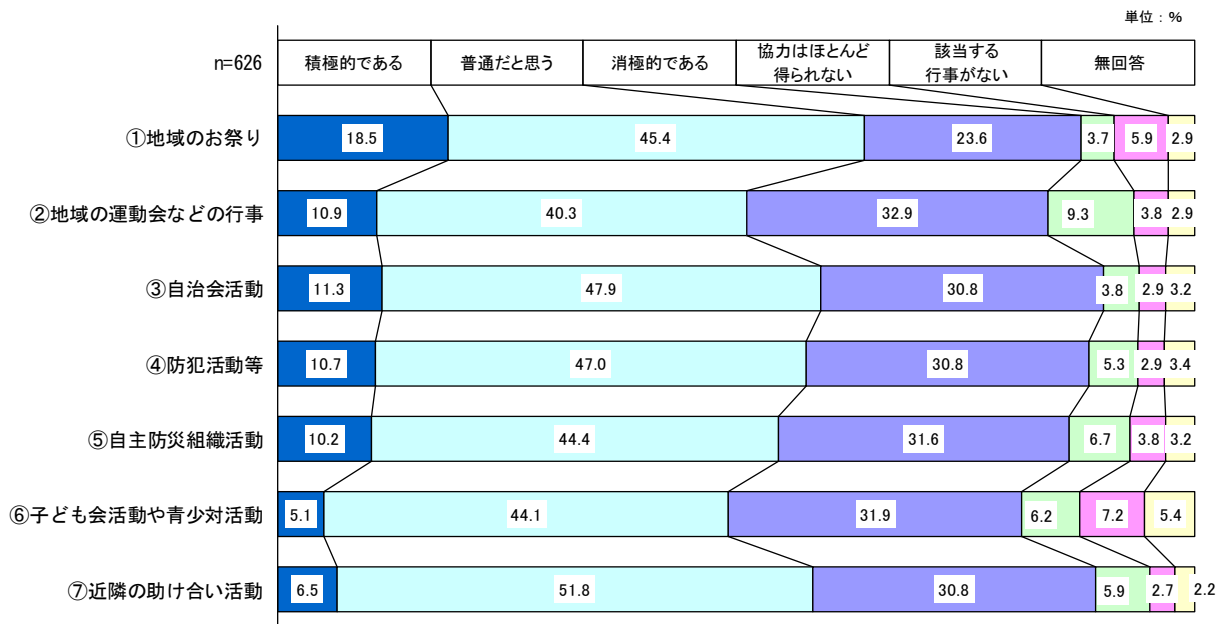
反対に、「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた<否定派>が比較的多いのは、「⑦高齢者が憩える場所が確保されている」(37.7%)、「公共施設の利用が便利である」(35.1%)、「子どもの遊び場や公園が充実している」(34.0%)となっている。



(2) 地域活動への住民の協力状況

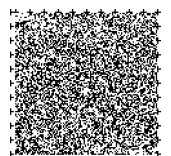
問5 地域活動への住民の協力状況については、どのようにお考えですか。  
[それぞれ1つに○]

問5	全体	積極的 である	普通だ と思う	消極的 である	協力はほ んど得 られない	該当す る行事 がない	無回答
①地域のお祭り	626	116	284	148	23	37	18
	100.0	18.5	45.4	23.6	3.7	5.9	2.9
②地域の運動会などの行事	626	68	252	206	58	24	18
	100.0	10.9	40.3	32.9	9.3	3.8	2.9
③自治会活動	626	71	300	193	24	18	20
	100.0	11.3	47.9	30.8	3.8	2.9	3.2
④防犯活動等	626	67	294	193	33	18	21
	100.0	10.7	47.0	30.8	5.3	2.9	3.4
⑤自主防災組織活動	626	64	278	198	42	24	20
	100.0	10.2	44.4	31.6	6.7	3.8	3.2
⑥子ども会活動や青少対活動	626	32	276	200	39	45	34
	100.0	5.1	44.1	31.9	6.2	7.2	5.4
⑦近隣の助け合い活動	626	41	324	193	37	17	14
	100.0	6.5	51.8	30.8	5.9	2.7	2.2



○どの活動についても、「普通だと思う」が半数前後と最も多く、次いで「消極的である」が多く、似たような回答傾向となっている。

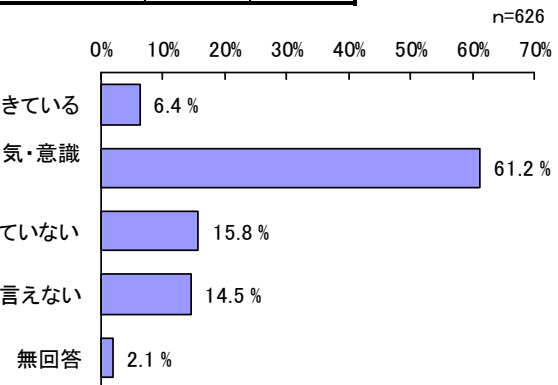
「積極的である」の回答割合が比較的多いのは、①地域のお祭り（18.5%）であり、反対に少ないのは⑥子ども会活動や青少対活動（5.1%）や⑦近隣の助け合い活動（6.5%）である。



(3) 地域で互いに助け合う体制

問6 地域で互いに助け合う体制（取り組み・雰囲気）はできていると思いますか。[1つに○]

No.	選 択 肢	n	%
1	助け合うしくみができている	40	6.4
2	助け合うしくみではないが、助け合おうという雰囲気・意識は育っている	383	61.2
3	助け合う雰囲気は育っていない	99	15.8
4	何とも言えない	91	14.5
	無回答	13	2.1
	全体	626	100.0



○「助け合うしくみではないが、助け合おうという雰囲気・意識は育っている」（61.2%）という回答が6割強を占めて最も多く、次いで「助け合う雰囲気は育っていない」（15.8%）が多くなっている。

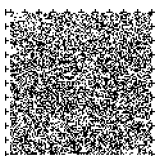
【居住地域別】

\* 上段…人数（単位：人）、下段…構成比（単位：%）

	合計	助け合うしくみができている	助け合うしくみではないが、助け合おうという雰囲気・意識は育っている	助け合う雰囲気は育っていない	何とも言えない	無回答
全体	626	40	383	99	91	13
	100.0	6.4	61.2	15.8	14.5	2.1
本町	35	1	18	10	6	0
	100.0	2.9	51.4	28.6	17.1	0.0
久米川町	54	1	34	9	8	2
	100.0	1.9	63.0	16.7	14.8	3.7
秋津町	70	5	46	8	10	1
	100.0	7.1	65.7	11.4	14.3	1.4
青葉町	61	10	34	10	6	1
	100.0	16.4	55.7	16.4	9.8	1.6
恩多町	49	3	29	6	11	0
	100.0	6.1	59.2	12.2	22.4	0.0
萩山町	43	3	32	6	2	0
	100.0	7.0	74.4	14.0	4.7	0.0
栄町	55	4	23	10	15	3
	100.0	7.3	41.8	18.2	27.3	5.5
富士見町	51	3	31	11	6	0
	100.0	5.9	60.8	21.6	11.8	0.0
美住町	29	0	19	6	2	2
	100.0	0.0	65.5	20.7	6.9	6.9
廻田町	32	0	17	8	7	0
	100.0	0.0	53.1	25.0	21.9	0.0
多摩湖町	49	1	36	5	7	0
	100.0	2.0	73.5	10.2	14.3	0.0
諏訪町	54	6	36	3	7	2
	100.0	11.1	66.7	5.6	13.0	3.7
野口町	40	3	27	6	4	0
	100.0	7.5	67.5	15.0	10.0	0.0

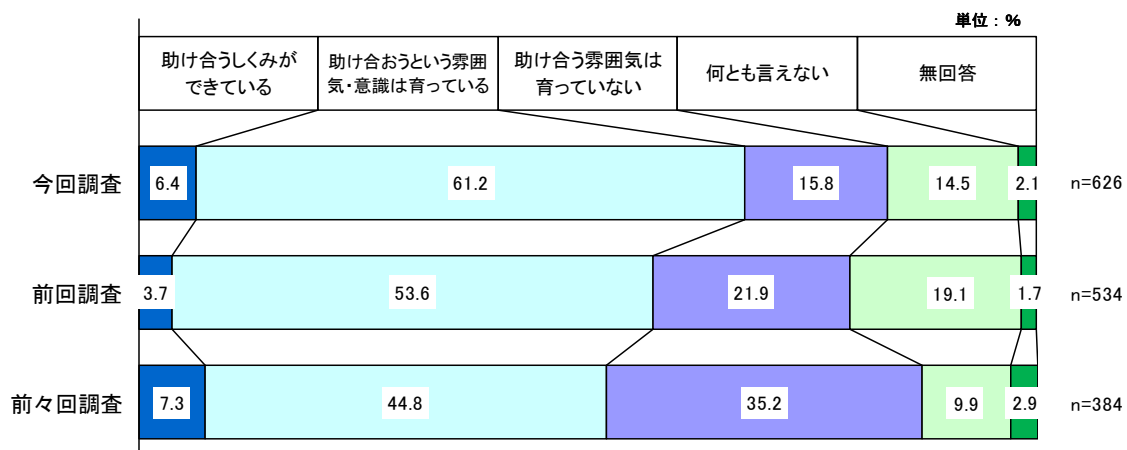
○青葉町では、「助け合うしくみができている」の回答割合が、萩山町や多摩湖町、野口町、諏訪町では、「助け合うしくみではないが、助け合おうという雰囲気・意識は育っている」の回答割合が比較的多い。

一方で、本町や廻田町では、「助け合う雰囲気は育っていない」の回答割合が比較的多くなっている。

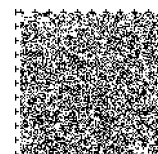




## 【前回調査との比較】



- 今回調査結果では、前回調査時と比べて「助け合うしくみまではないが、助け合おうという雰囲気・意識は育っている」の割合が 7.6 ポイント増加し、一方で「助け合う雰囲気は育っていない」、「何とも言えない」の割合が順に 6.1、4.6 ポイント減少している。



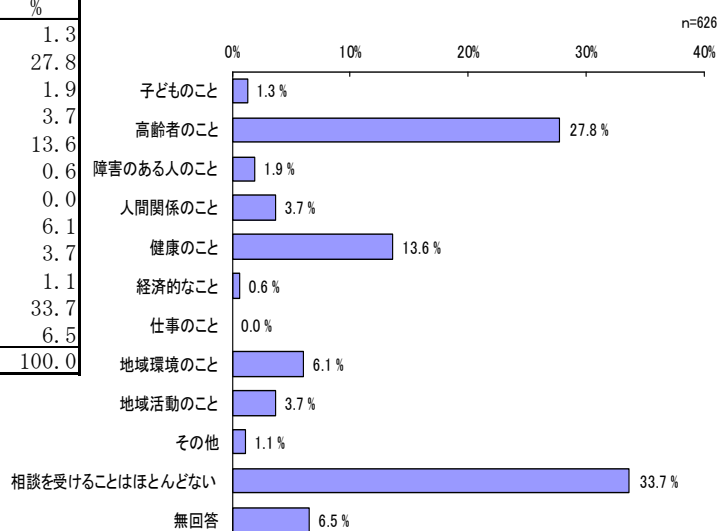
### III 地域住民からの相談等

#### (1) 相談内容

問7 地域住民から受ける相談内容は、主としてどのようなことが多いですか。多い順にそれぞれ番号を1つずつ記入（1位～3位）してください。

#### 《1位》

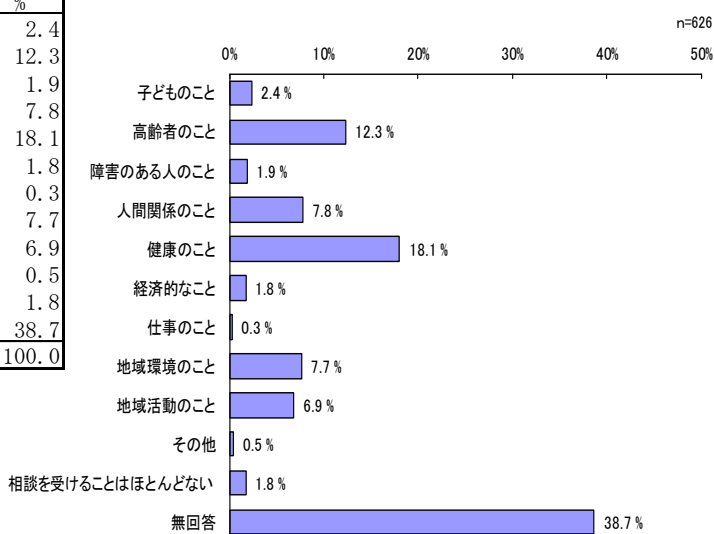
No.	選 択 肢	n	%
1	子どものこと	8	1.3
2	高齢者のこと	174	27.8
3	障害のある人のこと	12	1.9
4	人間関係のこと	23	3.7
5	健康のこと	85	13.6
6	経済的なこと	4	0.6
7	仕事のこと	0	0.0
8	地域環境のこと	38	6.1
9	地域活動のこと	23	3.7
10	その他	7	1.1
11	相談を受けることはほとんどない	211	33.7
	無回答	41	6.5
	全体	626	100.0



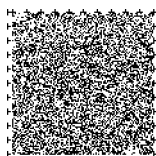
○「相談を受けることはほとんどない」(33.7%)が最も多く、次いで「高齢者のこと」(27.8%)が多く、「健康のこと」(13.6%)が続いている。

#### 《2位》

No.	選 択 肢	n	%
1	子どものこと	15	2.4
2	高齢者のこと	77	12.3
3	障害のある人のこと	12	1.9
4	人間関係のこと	49	7.8
5	健康のこと	113	18.1
6	経済的なこと	11	1.8
7	仕事のこと	2	0.3
8	地域環境のこと	48	7.7
9	地域活動のこと	43	6.9
10	その他	3	0.5
11	相談を受けることはほとんどない	11	1.8
	無回答	242	38.7
	全体	626	100.0

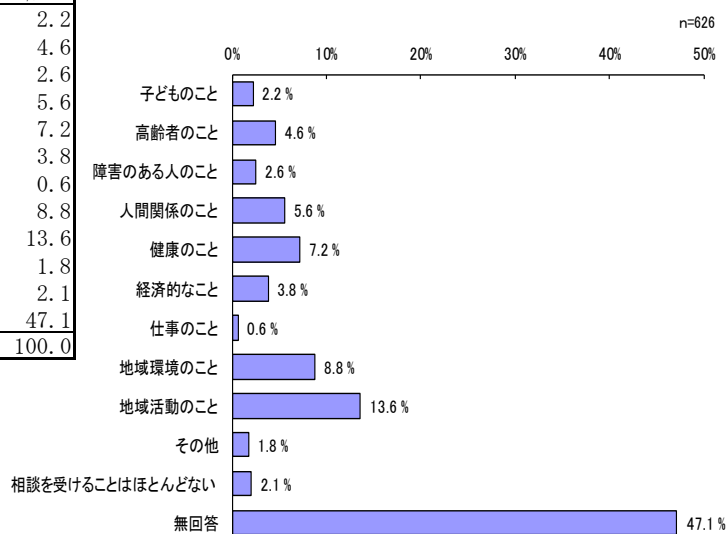


○「無回答」(38.7%)が最も多いが、回答のあったものの中では「健康のこと」(18.1%)、「高齢者のこと」(12.3%)が多くなっている。



### 《 3位 》

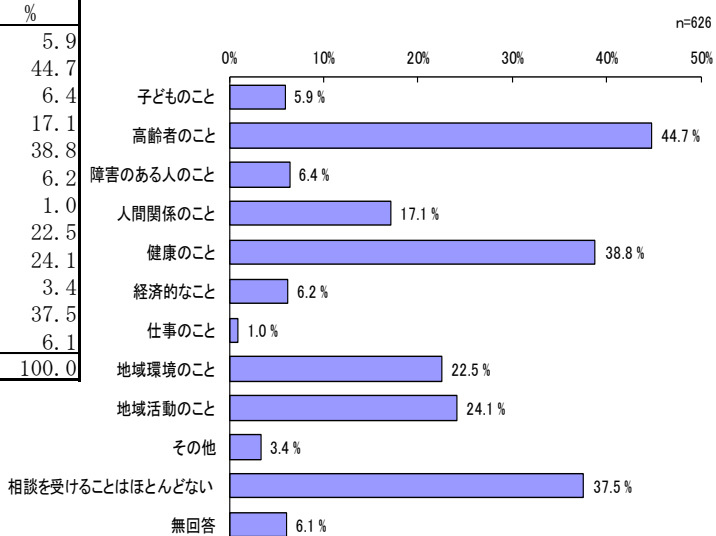
No.	選 択 肢	n	%
1	子どものこと	14	2.2
2	高齢者のこと	29	4.6
3	障害のある人のこと	16	2.6
4	人間関係のこと	35	5.6
5	健康のこと	45	7.2
6	経済的なこと	24	3.8
7	仕事のこと	4	0.6
8	地域環境のこと	55	8.8
9	地域活動のこと	85	13.6
10	その他	11	1.8
11	相談を受けることはほとんどない	13	2.1
	無回答	295	47.1
	全体	626	100.0



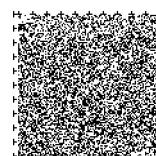
○「無回答」(47.1%) が最も多いが、回答のあったものの中では「地域活動のこと」(13.6%)、「地域環境のこと」(8.8%)が多くなっている。

### 《 合計 》

No.	カテゴリー名	n	%
1	子どものこと	37	5.9
2	高齢者のこと	280	44.7
3	障害のある人のこと	40	6.4
4	人間関係のこと	107	17.1
5	健康のこと	243	38.8
6	経済的なこと	39	6.2
7	仕事のこと	6	1.0
8	地域環境のこと	141	22.5
9	地域活動のこと	151	24.1
10	その他	21	3.4
11	相談を受けることはほとんどない	235	37.5
	無回答	38	6.1
	全体	626	100.0



○上述の1位～3位に出てきた回答の数を選択肢ごとに合計すると、「高齢者のこと」(44.7%)が最も多く、「健康のこと」(38.8%)、「相談を受けることはほとんどない」(37.5%)が続いている。



【関係者別】

\*上段…人数(単位:人)、下段…構成比

	合計	子どものこと	高齢者のこと	障害のある人のこと	人間関係のこと	健康のこと	経済的なこと	仕事のこと	地域環境のこと	地域活動のこと	その他	相談を受けることはほとんどない	無回答
全体	626	8	174	12	23	85	4	0	38	23	7	211	41
	100.0	1.3	27.8	1.9	3.7	13.6	0.6	0.0	6.1	3.7	1.1	33.7	6.5
民生委員・児童委員	79	2	47	1	2	9	1	0	5	1	0	11	0
	100.0	2.5	59.5	1.3	2.5	11.4	1.3	0.0	6.3	1.3	0.0	13.9	0.0
社会福祉協議会 福祉協力員	340	5	90	9	14	40	2	0	20	11	5	122	22
	100.0	1.5	26.5	2.6	4.1	11.8	0.6	0.0	5.9	3.2	1.5	35.9	6.5
保健推進員	201	1	35	1	7	36	1	0	13	11	2	77	17
	100.0	0.5	17.4	0.5	3.5	17.9	0.5	0.0	6.5	5.5	1.0	38.3	8.5
身体障害者・知的 障害者相談員	6	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	100.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3

○民生委員・児童委員と身体障害者・知的障害者相談員では、「高齢者のこと」が最も多く、次いで「相談を受けることはほとんどない」(身体障害者・知的障害者相談員では「障害のある人のこと」も同数2位)が多くなっている。

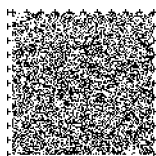
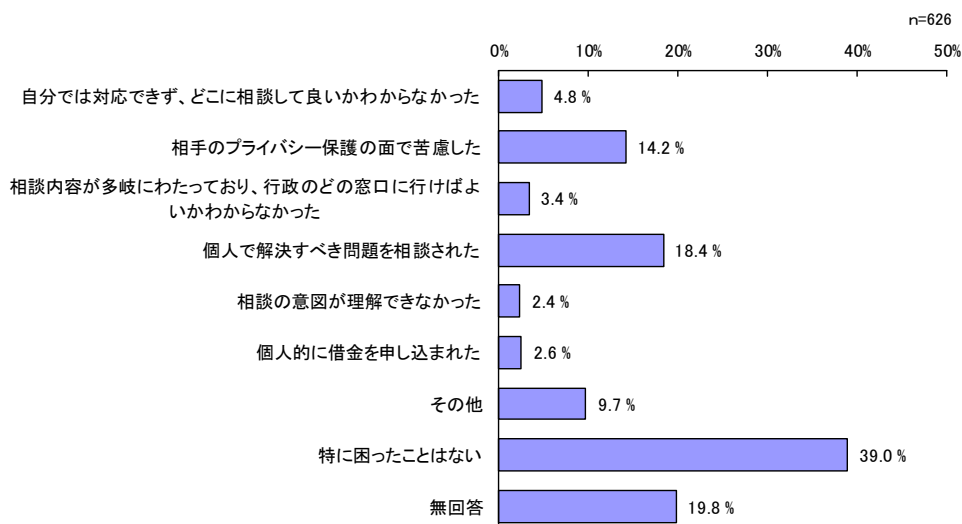
社会福祉協議会 福祉協力員では、反対に「相談を受けることはほとんどない」が最も多く、次いで「高齢者のこと」が多くなっている。

保健推進員でも「相談を受けることはほとんどない」が最も多いが、次いで「健康のこと」が多く、僅かの差で「高齢者のこと」が続いている。

(2) 相談を受けて困ったこと

問8 地域住民からの相談を受けて困ることはありましたか。[○は2つまで]

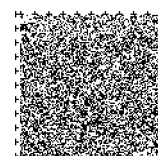
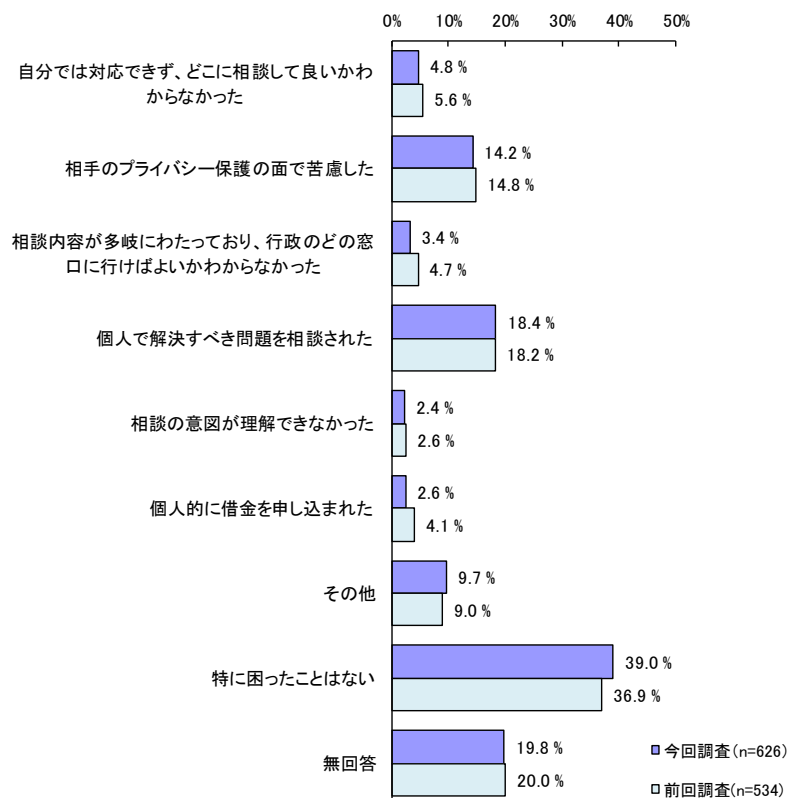
No.	選 択 肢	n	%
1	自分では対応できず、どこに相談して良いかわからなかった	30	4.8
2	相手のプライバシー保護の面で苦慮した	89	14.2
3	相談内容が多岐にわたっており、行政のどの窓口に行けばよいかかわからなかった	21	3.4
4	個人で解決すべき問題を相談された	115	18.4
5	相談の意図が理解できなかった	15	2.4
6	個人的に借金を申し込まれた	16	2.6
7	その他	61	9.7
8	特に困ったことはない	244	39.0
	無回答	124	19.8
	全体	626	100.0



- 「特に困ったことはない」(39.0%)という回答が最も多く、次いで多いのは「無回答」(19.8%)であるが、回答のあったものの中では「個人で解決すべき問題を相談された」(18.4%)、「相手のプライバシー保護の面で苦慮した」(14.2%)が多くなっている。

### 【前回調査との比較】

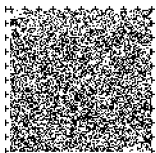
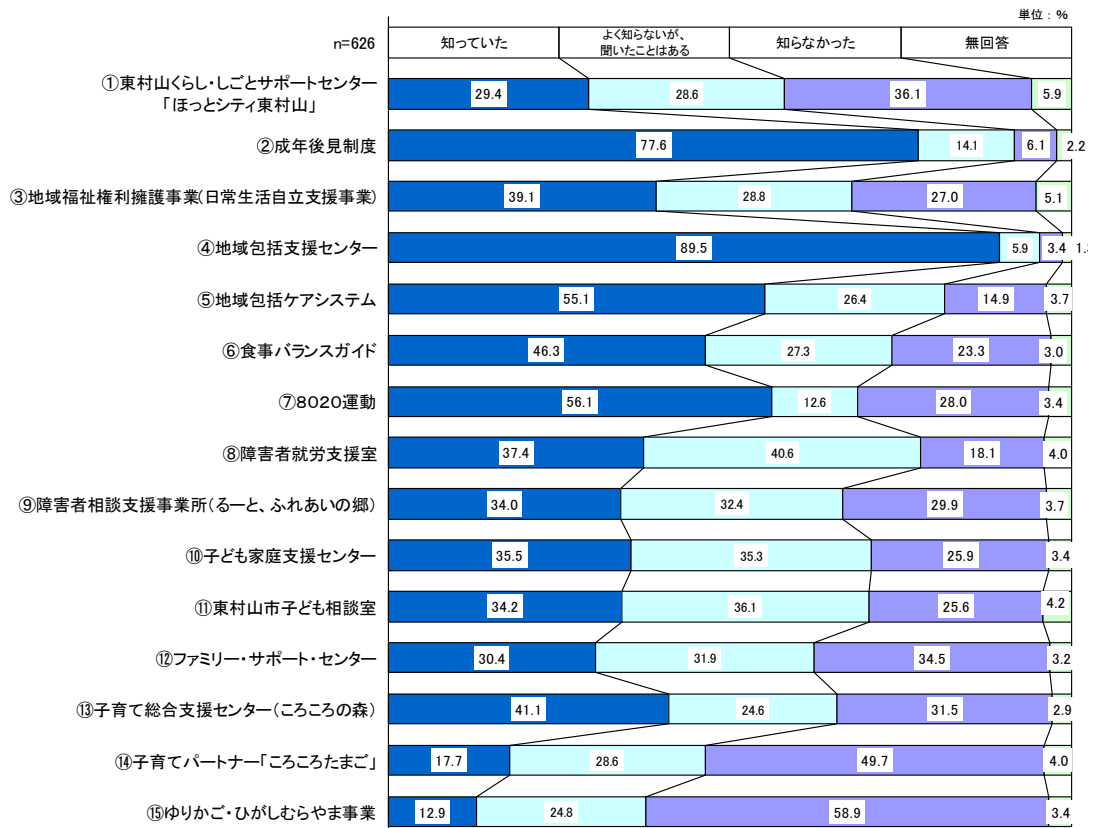
- 今回調査結果でも、前回調査時と同様に「特に困ったことはない」が最も多く、2.1ポイント増加している。次いで多い回答も同じく「無回答」、「個人で解決すべき問題を相談された」の順となっており、大きな変化はみられない。



(3) ことばの認知度

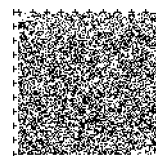
問9 あなたは、下表の①～⑮に示したことばをご存知でしたか。  
[それぞれ1つに○]

問9	全体	知っていた	よく知らないが、聞いたことはある	知らなかった	無回答
①東村山くらし・しごとサポートセンター「ほっとシティ東村山」	626	184	179	226	37
	100.0	29.4	28.6	36.1	5.9
②成年後見制度	626	486	88	38	14
	100.0	77.6	14.1	6.1	2.2
③地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	626	245	180	169	32
	100.0	39.1	28.8	27.0	5.1
④地域包括支援センター	626	560	37	21	8
	100.0	89.5	5.9	3.4	1.3
⑤地域包括ケアシステム	626	345	165	93	23
	100.0	55.1	26.4	14.9	3.7
⑥食事バランスガイド	626	290	171	146	19
	100.0	46.3	27.3	23.3	3.0
⑦8020運動	626	351	79	175	21
	100.0	56.1	12.6	28.0	3.4
⑧障害者就労支援室	626	234	254	113	25
	100.0	37.4	40.6	18.1	4.0
⑨障害者相談支援事業所(るーと、ふれあいの郷)	626	213	203	187	23
	100.0	34.0	32.4	29.9	3.7
⑩子ども家庭支援センター	626	222	221	162	21
	100.0	35.5	35.3	25.9	3.4
⑪東村山市子ども相談室	626	214	226	160	26
	100.0	34.2	36.1	25.6	4.2
⑫ファミリー・サポート・センター	626	190	200	216	20
	100.0	30.4	31.9	34.5	3.2
⑬子育て総合支援センター(ころころの森)	626	257	154	197	18
	100.0	41.1	24.6	31.5	2.9
⑭子育てパートナー「ころころたまご」	626	111	179	311	25
	100.0	17.7	28.6	49.7	4.0
⑮ゆりかご・ひがしむらやま事業	626	81	155	369	21
	100.0	12.9	24.8	58.9	3.4



○地域包括支援センターは「知っていた」の回答が9割弱を占め、認知度が高くなっている。成年後見制度も7割台が「知っていた」と回答しており、比較的認知度が高くなっている。

一方、ゆりかご・ひがしむらやま事業と子育てパートナー「ころころたまご」は「知らなかった」の回答割合が順に6割弱、5割弱となっており、比較的認知度が低くなっている。

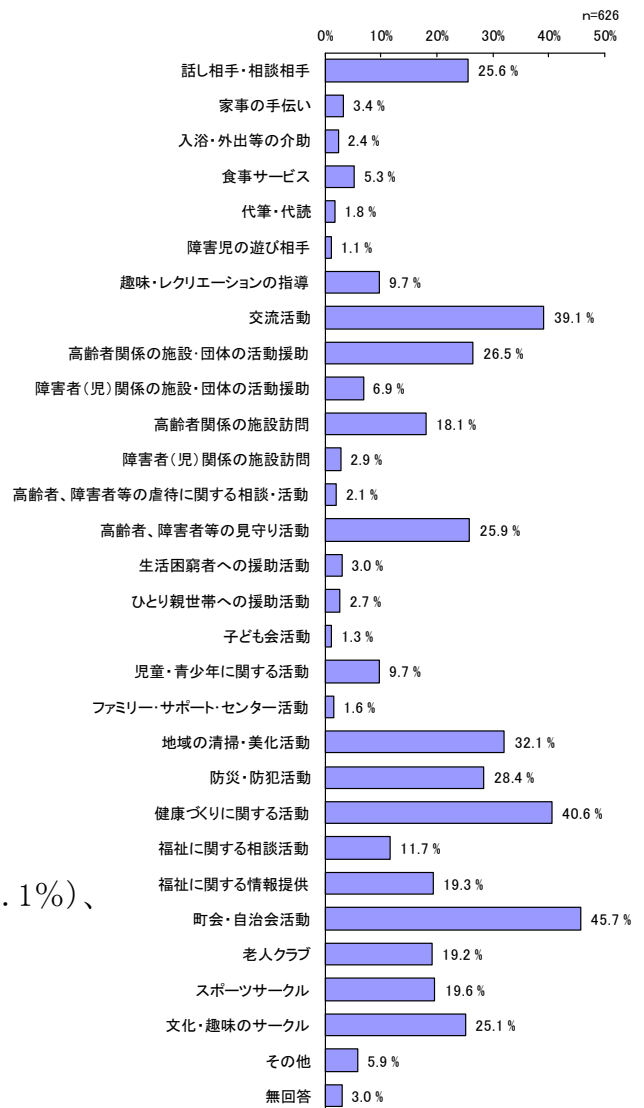


## IV 地域活動

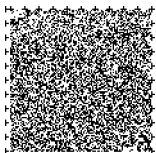
### (1) 現在行っている地域活動

問 10 現在あなたが取り組んでいる地域活動は、主としてどのようなことですか。[〇はいくつでも]

No.	選 択 肢	n	%
1	話し相手・相談相手	160	25.6
2	家事の手伝い	21	3.4
3	入浴・外出等の介助	15	2.4
4	食事サービス	33	5.3
5	代筆・代読	11	1.8
6	障害児の遊び相手	7	1.1
7	趣味・レクリエーションの指導	61	9.7
8	交流活動	245	39.1
9	高齢者関係の施設・団体の活動援助	166	26.5
10	障害者(児)関係の施設・団体の活動援助	43	6.9
11	高齢者関係の施設訪問	113	18.1
12	障害者(児)関係の施設訪問	18	2.9
13	高齢者、障害者等の虐待に関する相談・活動	13	2.1
14	高齢者、障害者等の見守り活動	162	25.9
15	生活困窮者への援助活動	19	3.0
16	ひとり親世帯への援助活動	17	2.7
17	子ども会活動	8	1.3
18	児童・青少年に関する活動	61	9.7
19	ファミリー・サポート・センター活動	10	1.6
20	地域の清掃・美化活動	201	32.1
21	防災・防犯活動	178	28.4
22	健康づくりに関する活動	254	40.6
23	福祉に関する相談活動	73	11.7
24	福祉に関する情報提供	121	19.3
25	町会・自治会活動	286	45.7
26	老人クラブ	120	19.2
27	スポーツサークル	123	19.6
28	文化・趣味のサークル	157	25.1
29	その他	37	5.9
	無回答	19	3.0
	全体	626	100.0



○「町会・自治会活動」(45.7%) が最も多く、次いで「健康づくりに関する活動」(40.6%) が多く、「交流活動」(39.1%)、「地域の清掃・美化活動」(32.1%) が続いている。





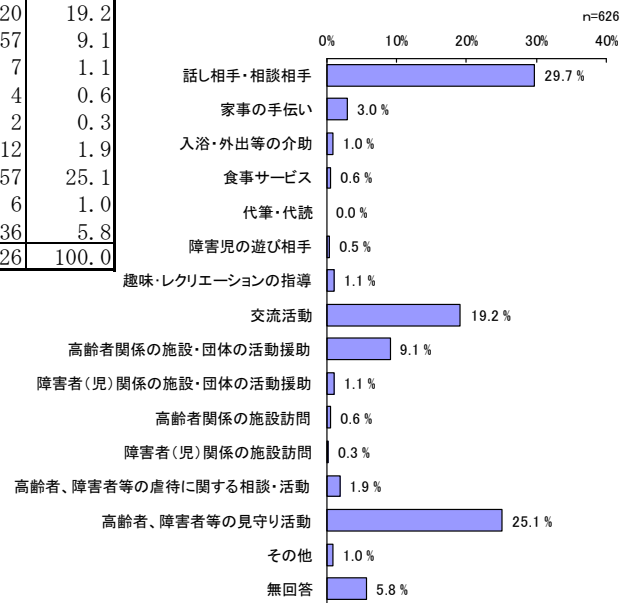
(2) 今後、重要になる地域活動

問 11 今後は、どのような地域活動がより重要になるとお思いますか。重要と思われる順（1位～3位）にそれぞれ番号を1つずつ記入してください。

◆①高齢者・障害者（児）関係

《1位》

No.	選 択 肢	n	%
1	話し相手・相談相手	186	29.7
2	家事の手伝い	19	3.0
3	入浴・外出等の介助	6	1.0
4	食事サービス	4	0.6
5	代筆・代読	0	0.0
6	障害児の遊び相手	3	0.5
7	趣味・レクリエーションの指導	7	1.1
8	交流活動	120	19.2
9	高齢者関係の施設・団体の活動援助	57	9.1
10	障害者（児）関係の施設・団体の活動援助	7	1.1
11	高齢者関係の施設訪問	4	0.6
12	障害者（児）関係の施設訪問	2	0.3
13	高齢者、障害者等の虐待に関する相談・活動	12	1.9
14	高齢者、障害者等の見守り活動	157	25.1
15	その他	6	1.0
	無回答	36	5.8
	全体	626	100.0



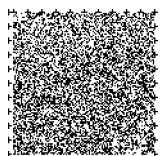
○「話し相手・相談相手」(29.7%) が最も多く、次いで「高齢者、障害者等の見守り活動」(25.1%) が多く、「交流活動」(19.2%) が続いている。

【関係者別】

\* 上段…人数 (単位：人)、下段…構成比 (単位：%)

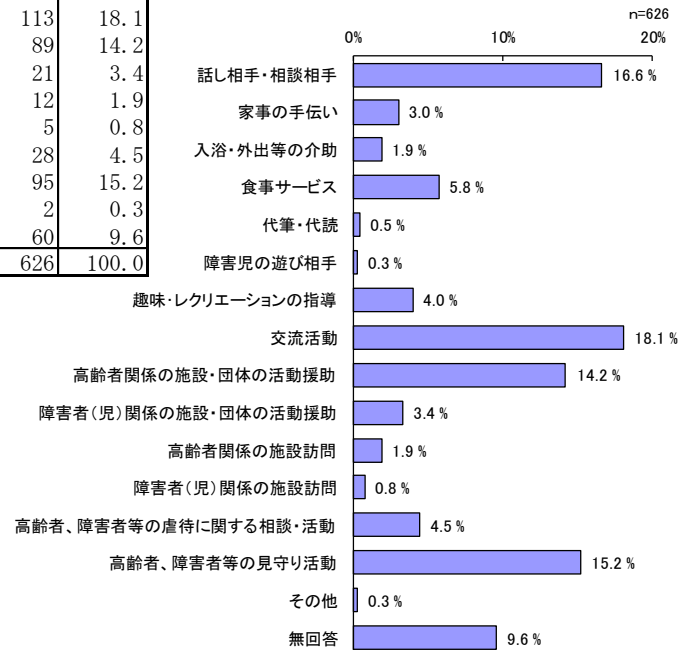
	合計	話し相手・相談相手	家事の手伝い	入浴・外出等の介助	食事サービス	代筆・代読	障害児の遊び相手	趣味・レクリエーションの指導	交流活動	高齢者関係の施設・団体の活動援助	障害者(児)関係の施設・団体の活動援助	高齢者関係の施設訪問	障害者(児)関係の施設訪問	高齢者、障害者等の虐待に関する相談・活動	高齢者、障害者等の見守り活動	その他	無回答
全体	626	186	19	6	4	0	3	7	120	57	7	4	2	12	157	6	36
民生委員・児童委員	79	28	1	0	0	0	2	1	11	3	0	0	0	1	29	0	3
社会福祉協議会	340	99	12	4	4	0	1	2	59	31	6	4	1	9	87	2	19
福祉協力員	100	29.1	3.5	1.2	1.2	0.0	0.3	0.6	17.4	9.1	1.8	1.2	0.3	2.6	25.6	0.6	5.6
保健推進員	201	54	6	2	0	0	0	4	50	23	0	0	1	2	41	4	14
身体障害者・知的障害者相談員	6	5	0	0	0	0	0	0	24.9	11.4	0.0	0.0	0.5	1.0	20.4	2.0	7.0
	100.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○民生委員・児童委員では、「高齢者、障害者等の見守り活動」が最も多く、僅かの差で「話し相手・相談相手」が続いている。その他の回答者では、「話し相手・相談相手」が最も多く、次いで多い回答は、社会福祉協議会 福祉協力員では「高齢者、障害者等の見守り活動」、保健推進員では「交流活動」、身体障害者・知的障害者相談員では「障害者（児）関係の施設・団体の活動援助」となっている。



## 《 2 位 》

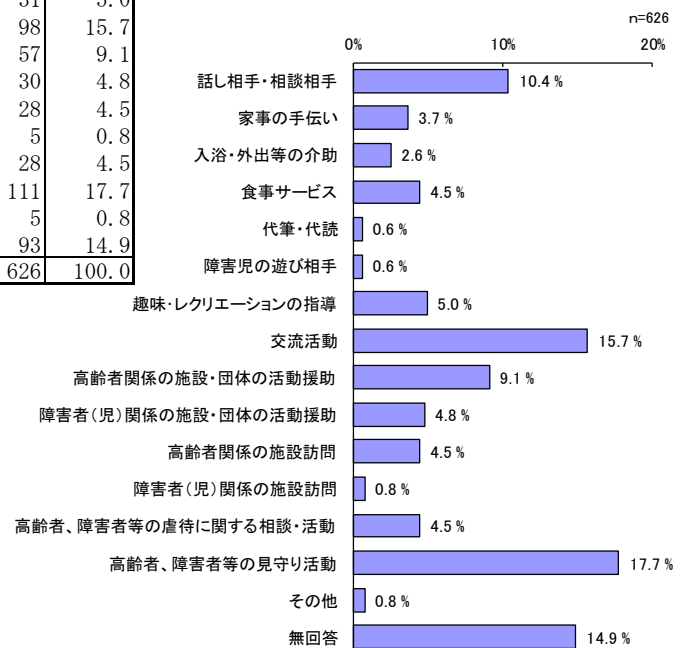
No.	選 択 肢	n	%
1	話し相手・相談相手	104	16.6
2	家事の手伝い	19	3.0
3	入浴・外出等の介助	12	1.9
4	食事サービス	36	5.8
5	代筆・代読	3	0.5
6	障害児の遊び相手	2	0.3
7	趣味・レクリエーションの指導	25	4.0
8	交流活動	113	18.1
9	高齢者関係の施設・団体の活動援助	89	14.2
10	障害者（児）関係の施設・団体の活動援助	21	3.4
11	高齢者関係の施設訪問	12	1.9
12	障害者（児）関係の施設訪問	5	0.8
13	高齢者、障害者等の虐待に関する相談・活動	28	4.5
14	高齢者、障害者等の見守り活動	95	15.2
15	その他	2	0.3
	無回答	60	9.6
	全体	626	100.0



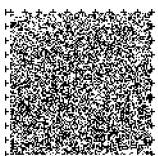
○ 「交流活動」(18.1%) が最も多く、「話し相手・相談相手」(16.6%)、「高齢者、障害者等の見守り活動」(15.2%) が続いている。

## 《 3 位 》

No.	選 択 肢	n	%
1	話し相手・相談相手	65	10.4
2	家事の手伝い	23	3.7
3	入浴・外出等の介助	16	2.6
4	食事サービス	28	4.5
5	代筆・代読	4	0.6
6	障害児の遊び相手	4	0.6
7	趣味・レクリエーションの指導	31	5.0
8	交流活動	98	15.7
9	高齢者関係の施設・団体の活動援助	57	9.1
10	障害者（児）関係の施設・団体の活動援助	30	4.8
11	高齢者関係の施設訪問	28	4.5
12	障害者（児）関係の施設訪問	5	0.8
13	高齢者、障害者等の虐待に関する相談・活動	28	4.5
14	高齢者、障害者等の見守り活動	111	17.7
15	その他	5	0.8
	無回答	93	14.9
	全体	626	100.0



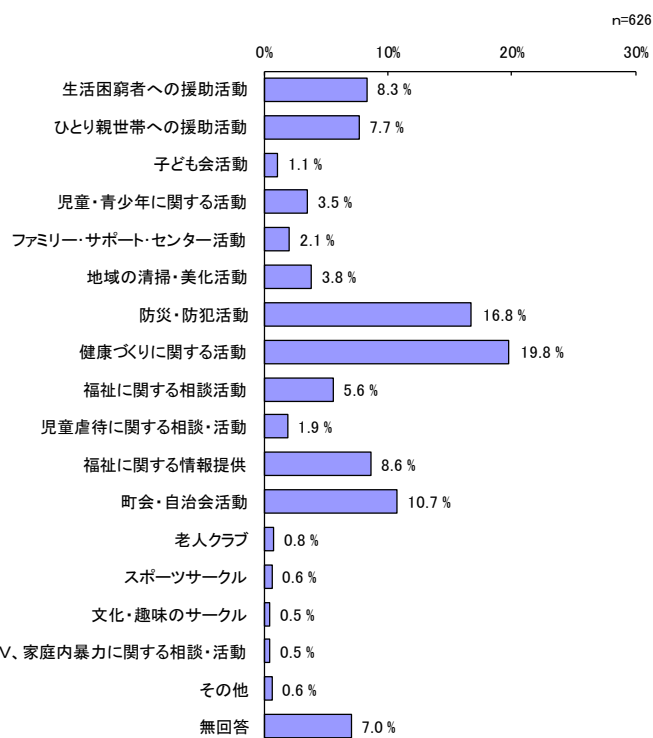
○ 「高齢者、障害者等の見守り活動」(17.7%) が最も多く、「交流活動」(15.7%)、「無回答」(14.9%)、「話し相手・相談相手」(10.4%) が続いている。



◆②その他

◀ 1位 ▶

No.	選 択 肢	n	%
1	生活困窮者への援助活動	52	8.3
2	ひとり親世帯への援助活動	48	7.7
3	子ども会活動	7	1.1
4	児童・青少年に関する活動	22	3.5
5	ファミリー・サポート・センター活動	13	2.1
6	地域の清掃・美化活動	24	3.8
7	防災・防犯活動	105	16.8
8	健康づくりに関する活動	124	19.8
9	福祉に関する相談活動	35	5.6
10	児童虐待に関する相談・活動	12	1.9
11	福祉に関する情報提供	54	8.6
12	町会・自治会活動	67	10.7
13	老人クラブ	5	0.8
14	スポーツサークル	4	0.6
15	文化・趣味のサークル	3	0.5
16	DV、家庭内暴力に関する相談・活動	3	0.5
17	その他	4	0.6
	無回答	44	7.0
	全体	626	100.0



○「健康づくりに関する活動」(19.8%)  
が最も多く、次いで「防災・防犯活動」  
(16.8%)が多く、「町会・自治会活動」  
(10.7%)が続いている。

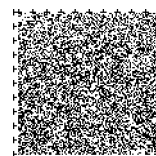
【関係者別】

\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	合計	生活困窮者への援助活動	ひとり親世帯への援助活動	子ども会活動	児童・青少年に関する活動	ファミリー・サポート・センター活動	地域の清掃・美化活動	防災・防犯活動	健康づくりに関する活動	福祉に関する相談活動	児童虐待に関する相談・活動	福祉に関する情報提供	町会・自治会活動	老人クラブ	スポーツサークル	文化・趣味のサークル	DV、家庭内暴力に関する相談・活動	その他	無回答
全体	626	52	48	7	22	13	24	105	124	35	12	54	67	5	4	3	3	4	44
民生委員・児童委員	79	10	2	0	3	1	3	17	10	2	2	18	8	0	0	0	0	0	3
社会福祉協議会	340	27	28	6	11	6	10	62	57	25	9	27	37	3	1	1	2	2	26
福祉協力員	100.0	7.9	8.2	1.8	3.2	1.8	2.9	18.2	16.8	7.4	2.6	7.9	10.9	0.9	0.3	0.3	0.6	0.6	7.6
保健推進員	201	15	18	0	8	6	11	24	57	5	1	9	22	2	3	2	1	2	15
身体障害者・知的障害者相談員	100.0	7.5	9.0	0.0	4.0	3.0	5.5	11.9	28.4	2.5	0.5	4.5	10.9	1.0	1.5	1.0	0.5	1.0	7.5
身体障害者・知的障害者相談員	6	0	0	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体障害者・知的障害者相談員	100.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

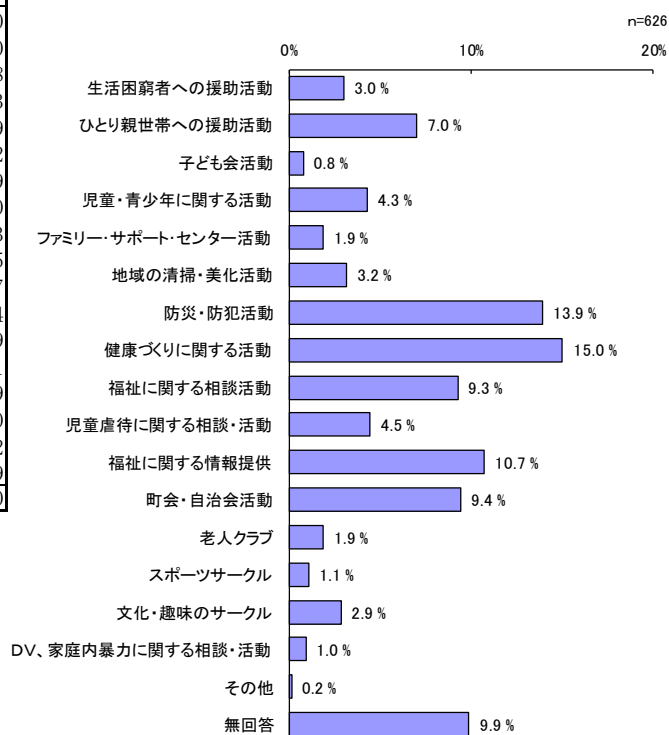
○最も多い回答は、民生委員・児童委員では「福祉に関する情報提供」、社会福祉協議会 福祉協力員では「防災・防犯活動」、保健推進員では「健康づくりに関する活動」、身体障害者・知的障害者相談員では「福祉に関する相談活動」となっている。

特に保健推進員の「健康づくりに関する活動」の回答割合は3割近くに達しており、多くなっている。なっており、多くなっている。



## 《 2 位 》

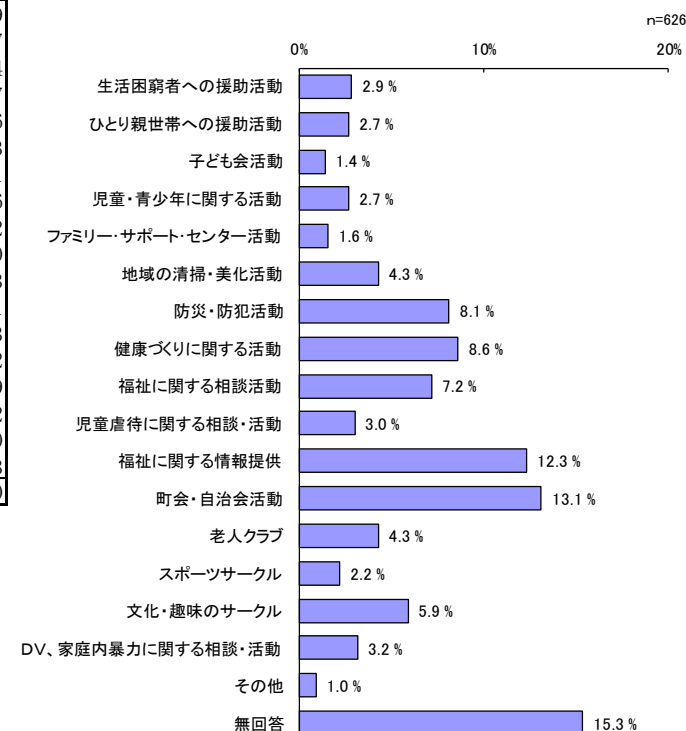
No.	選 択 肢	n	%
1	生活困窮者への援助活動	19	3.0
2	ひとり親世帯への援助活動	44	7.0
3	子ども会活動	5	0.8
4	児童・青少年に関する活動	27	4.3
5	ファミリー・サポート・センター活動	12	1.9
6	地域の清掃・美化活動	20	3.2
7	防災・防犯活動	87	13.9
8	健康づくりに関する活動	94	15.0
9	福祉に関する相談活動	58	9.3
10	児童虐待に関する相談・活動	28	4.5
11	福祉に関する情報提供	67	10.7
12	町会・自治会活動	59	9.4
13	老人クラブ	12	1.9
14	スポーツサークル	7	1.1
15	文化・趣味のサークル	18	2.9
16	DV、家庭内暴力に関する相談・活動	6	1.0
17	その他	1	0.2
	無回答	62	9.9
	全体	626	100.0



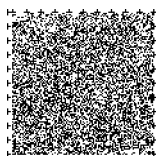
○「健康づくりに関する活動」(15.0%)  
が最も多く、次いで「防災・防犯活  
動」(13.9%)が多く、「福祉に関す  
る情報提供」(10.7%)が続いている。

## 《 3 位 》

No.	選 択 肢	n	%
1	生活困窮者への援助活動	18	2.9
2	ひとり親世帯への援助活動	17	2.7
3	子ども会活動	9	1.4
4	児童・青少年に関する活動	17	2.7
5	ファミリー・サポート・センター活動	10	1.6
6	地域の清掃・美化活動	27	4.3
7	防災・防犯活動	51	8.1
8	健康づくりに関する活動	54	8.6
9	福祉に関する相談活動	45	7.2
10	児童虐待に関する相談・活動	19	3.0
11	福祉に関する情報提供	77	12.3
12	町会・自治会活動	82	13.1
13	老人クラブ	27	4.3
14	スポーツサークル	14	2.2
15	文化・趣味のサークル	37	5.9
16	DV、家庭内暴力に関する相談・活動	20	3.2
17	その他	6	1.0
	無回答	96	15.3
	全体	626	100.0



○「無回答」(15.3%)が最も多く、  
「町会・自治会活動」(13.1%)、  
「福祉に関する情報提供」(12.3%)  
が続いている。



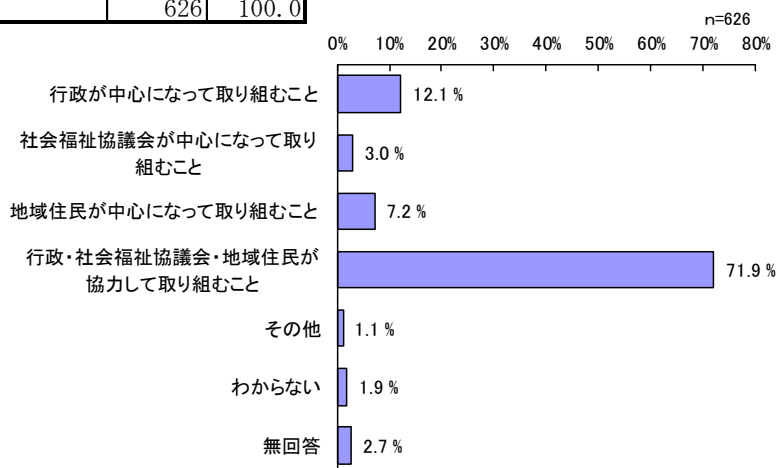
## V 市全体のこと

### (1) 地域福祉を推進するために必要なこと

問 12 今後、地域福祉をいっそう推進していくためには、何が最も必要だと思いますか。[1つに〇]

No.	選 択 肢	n	%
1	行政が中心になって取り組むこと	76	12.1
2	社会福祉協議会が中心になって取り組むこと	19	3.0
3	地域住民が中心になって取り組むこと	45	7.2
4	行政・社会福祉協議会・地域住民が協力して取り組むこと	450	71.9
5	その他	7	1.1
6	わからない	12	1.9
	無回答	17	2.7
	全体	626	100.0

○「行政・社会福祉協議会・地域住民が協力して取り組むこと」(71.9%)が7割強を占めて圧倒的に多く、次いで「行政が中心になって取り組むこと」(12.1%)が多くなっている。

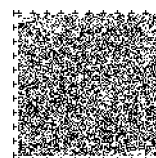


#### 【関係者別】

単位：%

	合計	行政が中心になって取り組むこと	社会福祉協議会が中心になって取り組むこと	地域住民が中心になって取り組むこと	行政・社会福祉協議会・地域住民が協力して取り組むこと	その他	わからない	無回答
全体	626	76	19	45	450	7	12	17
	100.0	12.1	3.0	7.2	71.9	1.1	1.9	2.7
民生委員・児童委員	79	9	1	4	61	1	1	2
	100.0	11.4	1.3	5.1	77.2	1.3	1.3	2.5
社会福祉協議会	340	43	14	24	241	5	5	8
福祉協力員	100.0	12.6	4.1	7.1	70.9	1.5	1.5	2.4
保健推進員	201	23	4	17	143	1	6	7
	100.0	11.4	2.0	8.5	71.1	0.5	3.0	3.5
身体障害者・知的障害者相談員	6	1	0	0	5	0	0	0
	100.0	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0

○いずれの回答者でも「行政・社会福祉協議会・地域住民が協力して取り組むこと」が7割を超えて最も多く、「行政が中心になって取り組むこと」が続いている。



## 【前回調査との比較】

単位：％

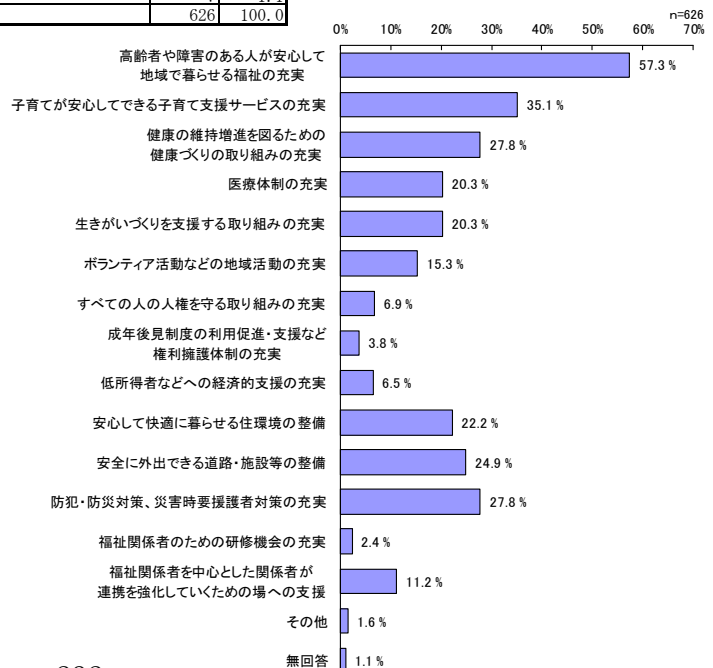
	n	行政が中心になって取り組むこと	社会福祉協議会が中心になって取り組むこと	地域住民が中心になって取り組むこと	行政・地域・社会福祉協議会が協力して取り組むこと	その他	わからない	無回答
今回調査	626	12.1	3.0	7.2	71.9	1.1	1.9	2.7
前回調査	534	12.4	1.7	8.6	72.5	0.9	1.3	2.6

○今回調査結果では、前回調査時と同様に「行政・社会福祉協議会・地域住民が協力して取り組むこと」が7割強を占めて最も多いが、回答割合は0.6ポイント減少している。次いで多い回答は「行政が中心になって取り組むこと」、「地域住民が中心になって取り組むこと」であるが、回答割合は順に0.3、1.4ポイント減少している。一方で、「社会福祉協議会が中心になって取り組むこと」の回答割合は1.3ポイント増加している。

## (2) 市が重点的に取り組むべき福祉施策

問 13 今後、市が重点的に取り組むべき福祉施策は何だと思いますか。  
[○は3つまで]

No.	選 択 肢	n	%
1	高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実	359	57.3
2	子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実	220	35.1
3	健康の維持増進を図るための健康づくりの取り組みの充実	174	27.8
4	医療体制の充実	127	20.3
5	生きがいづくりを支援する取り組みの充実	127	20.3
6	ボランティア活動などの地域活動の充実	96	15.3
7	すべての人の人権を守る取り組みの充実	43	6.9
8	成年後見制度の利用促進・支援など権利擁護体制の充実	24	3.8
9	低所得者などへの経済的支援の充実	41	6.5
10	安心して快適に暮らせる住環境の整備	139	22.2
11	安全に外出できる道路・施設等の整備	156	24.9
12	防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実	174	27.8
13	福祉関係者のための研修機会の充実	15	2.4
14	福祉関係者を中心とした関係者が連携を強化していくための場への支援	70	11.2
15	その他	10	1.6
	無回答	7	1.1
	全体	626	100.0



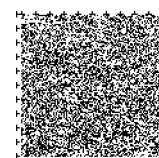
- 「高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実」(57.3%)が過半数に達して最も多く、「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」(35.1%)、「健康の維持増進を図るための健康づくりの取り組みの充実」「防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実」(共に27.8%)、「安全に外出できる道路・施設等の整備」(24.9%)等が続いている。

### 【関係者別の上位比較】

	n	1位	2位	3位
全体	626	高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実 57.3%	子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実 35.1%	健康の維持増進を図るための健康づくりの取り組みの充実/防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実 が同数3位 27.8%
民生委員・児童委員	79	高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実 58.2%	子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実 39.2%	防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実 30.4%
社会福祉協議会 福祉協力員	340	高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実 58.5%	子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実 38.5%	防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実 28.2%
保健推進員	201	高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実 54.7%	健康の維持増進を図るための健康づくりの取り組みの充実 43.3%	防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実 26.4%
身体障害者・知的障害者相談員	6	高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実 66.7%	子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実/健康の維持増進を図るための健康づくりの取り組みの充実/医療体制の充実/生きがいづくりを支援する取り組みの充実/ボランティア活動などの地域活動の充実/すべての人の人権を守る取り組みの充実/成年後見制度の利用促進・支援など権利擁護体制の充実/低所得者などへの経済的支援の充実/安心して快適に暮らせる住環境の整備/安全に外出できる道路・施設等の整備/防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実/その他 が同数2位 16.7%	

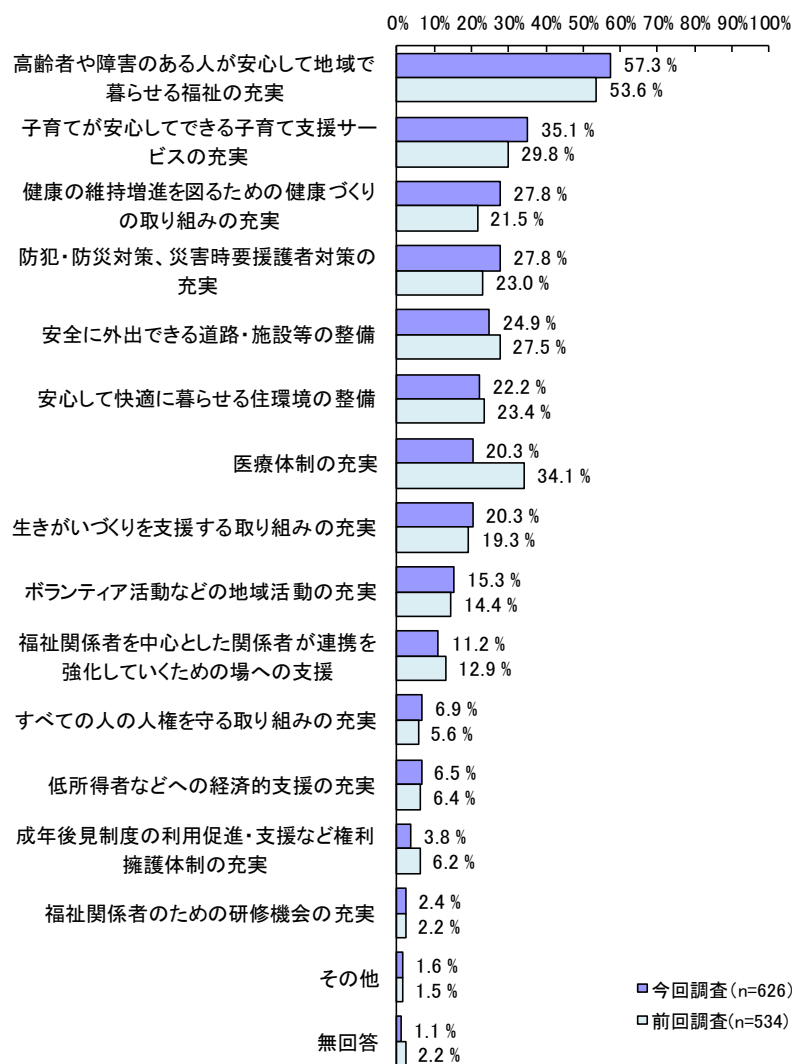
- いずれの回答者でも「高齢者や障害のある人が安心して地域で暮らせる福祉の充実」が最も多くなっており、特に身体障害者・知的障害者相談員では、回答割合が6割台半ばと多くなっている。

次いで多い回答は、民生委員・児童委員、社会福祉協議会 福祉協力員では「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」、「防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実」で、保健推進員では「健康の維持増進を図るための健康づくりの取り組みの充実」、「防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実」である。





## 【前回調査との比較】



○ポイント増減が大きかったものとしては、「健康の維持増進を図るための健康づくりの取り組みの充実」、「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」、「防犯・防災対策、災害時要援護者対策の充実」が挙げられ、順に6.3、5.3、4.8ポイント増加している。一方で、「医療体制の充実」は13.8ポイントと大きく減少している。

